

■ 成果指標

指標	単位	現状値		実績値				目標値
				R4	R5	R6	R7	
1	交通安全施設の新設件数(累計)	件	—	—	17	25	34	60
2	事前防災・減災のために施行した道路施設の件数(累計)	件	—	—	5	9	11	14
3								
4								
5								
6								
7								
8								

■ 市民アンケート調査

項目	現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察
1 国道などの幹線道路が整備されている	重要度	1.19	1.27	調査項目全般において重要度は高く上向き傾向にあり、道路整備に対する関心度が高い。また満足度が低下していることから日常の維持管理に対する要求水準が高いと推察される。
	満足度	0.30	0.47	
2 生活に身近な道路が整備されている	重要度	1.32	1.39	
	満足度	0.27	0.46	
3	重要度			
	満足度			
4	重要度			
	満足度			

■ 施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① 幹線道路の整備	早期の供用開始に向け、用地買収や排水路の測量設計を進め、次年度以降から予定している道路改良工事を進められる準備ができた。
② 生活道路の充実	地元要望による狭隘路線について、緊急車両の進入や通学路としての機能確保に向け、現道拡幅を行うための測量設計の実施を行った。
③ 安全に配慮した道路施設の充実	通学路交通安全プログラム等の要望により、歩行者が誰でも安心して円滑に移動できるよう、通学路を中心に防護柵や区画線等の交通安全施設の整備を実施した。
④ 道路の適切な維持管理	老朽化した舗装及び橋梁を予防保全的かつ計画的に修繕を行うことで、効果的・効率的な維持管理に努めた。また、今後の道路施設の維持管理について包括的民間委託の導入検討に向けての準備を行った。
⑤	
⑥	
⑦	

総合評価

幹線道路の整備については、市道と賀白川線において地権者との合意形成を図り、一部の用地買収及び排水路の測量設計を完了した。また市道川合9号線については、設計業務を完了し用地測量に着手し概ね完了することが出来た。生活道路の充実については、市道下庄1号線の整備方針について地元との合意が図れ、関係機関との協議も完了し事業の進捗が図れた。安全に配慮した道路施設の充実については、防護柵や区画線等を整備し、交通環境を改善するとともに、通学路における改修・改善箇所を対象に、合同点検を実施し、通学路交通安全プログラムに基づく交通安全施設の整備を行い、交通事故防止と交通の円滑化に努めた。道路の適切な維持管理については、舗装維持管理計画に基づき市道田村線及び市道小野白木線等の舗装修繕を実施し、道路利用者に安全で安心な道路サービスを提供するとともに、予防保全的に修繕を行うことによりコストの縮減を図り、効果的・効率的な道路管理を推進した。また、橋梁についても橋梁長寿命化修繕計画に基づき、定期点検や補修工事を予防保全的に実施し、橋梁の長寿命化並びに修繕にかかるコストの縮減に努め、安全で安心なインフラの維持管理を推進した。道路美化ボランティアにおいては、令和6年度の加入団体が18団体366人となり地域やボランティアと協働で道路の環境美化に努めることができた。

A

順調に進んだ

今後の展開方針

幹線道路の整備については、市道と賀白川線において、地権者および自治会との合意形成が概ね図られたことから用地買収を着実に進め、工事の進捗を図る。また市道川合9号線についても地元からの早期完成の要望を踏まえ、用地買収を着実に進めていく。生活道路の充実については、市道下庄1号線において、地権者との合意形成を図り、用地買収に着手していくが、3事業において予算確保に努め、国の交付金の配分に応じた事業の進め方の検討を行っていく。安全に配慮した道路施設の充実については、各自治会からの要望や通学路交通安全プログラムにより教育委員会や公安委員会等と連携し、要対策箇所の対応並びに交通安全施設の充実を図っていく。道路の適切な維持管理については、更なる予防保全型の維持管理へ移行するため、舗装維持管理計画および橋梁長寿命化修繕計画に基づき、効果的・効率的な維持管理を推進するとともに、民間事業者のノウハウを活用し市民サービスの向上及び維持管理費の軽減を図るために包括的民間委託の導入検討を進める。また、橋梁塗膜に含まれるPCBの処理については、令和8年度末までに完了するため修繕工事を計画的に進めていく。さらに道路美化ボランティア加入団体の増加を図り、市民協働の取り組みを推進していく。